

薄根川荒山沢右俣本流報告

(山城)上州武尊山

(日時)2016年 7月 10日

(メンバー) CL 上茂 平野直 平野良 小原 会員外3名

(行程) 川場野営場8:00～入溪8:30～登山道横断二俣8:45～20m3 段滝を巻く12:00～登山道15:00～前武尊16:30～川場野営場18:00

前夜発で湯沢 IC 下り、トイレのある屋根付きのいい仮眠場所を見つけ、明日の天気回復を祈るが雨は降り続いた。翌朝もまだすっきりせず、西ゼンの濡れたスラブはちょっと行く気にならないので、群馬県側に転進を決め、関越のトンネルを抜けると、こちら側は良い天気だ。沼田ICから川場野営場を目指す。林道終点まで歩き、沢への下降場所を探す。支流が入っていたのでそこから入溪。

ふつうの河原をしばらく行くと登山道が横断する。すぐ先が二俣で右俣に入る。すぐ右から支流が入り、左沢へ進みだんだん景色が開けてくると、左から覆いかぶさるように側壁が迫り、岩の下はそれとは対照的に流木のかかるナメ滝にさらさらと水が流れ、険しさと優しさを兼ね備えた景色が目飛び込んだ。それにつられて優



しそうなナメをひたひた登るうちに傾斜が増してきて行き詰る。お助けを出し、上部は平野さんにトップで行ってもらったが、一瞬微妙なムーブで緊張した。そして、次の難関は、ナメ+チョックストーン滝、滝上に木の枝が伸びていたので投げ縄でロープをひっかけ、先に平野良さんに登ってもらい、固定したロープをごぼうで岩の隙間まで上がり狭い隙間を這いずって脱出。次々に現れる小滝、ナメとチョックストーン、ゴルジュ地形なので巻くのも嫌な感じだ。会員外の面々は沢は初心者だが、フリークライミングやボルダリングの高グレードをこなすだけあって身のこなしがなかなかスマートだ。そして 30m位の3段ナメ滝にぶつかり、落ち口下の傾斜を見ると登る気力も失せたので、左岸を高巻くことにした。急な藪をかき分け岩を右に回り込むと見晴らしのいい場所に出たので、休憩。沢筋に戻るには、25メートルくらいトラバースしなければならぬそうだ。足場の悪いところもあったが、ロープを出して移動。藪に入るとアザミが痛い。沢はまだまだ気が抜けず、二俣にぶつかり左沢に入り、両側は低く狭くなってきたが、またまたチョックストーンが沢を塞ぐ。これはまた手ごわそうだ。ロープを出してもらい左側を登ったがヌルヌルして悪かった。そろそろ終盤かと思いきや、ハング気味の小滝にぶつかり嫌な草付きをよじ登る。

この先も沢筋は続くが傾斜が緩んできたので、そろそろ登山道を目指して藪を漕ぐことにした。笹藪をかき分けながらのトラバースがきつい。いったん支尾根に出た。登山道はもう少し先の尾根だ。藪は深く登山道らしきものは見えないが、藪漕ぎ30分位でようやく登山道に出た。前武尊まではしばらく登る。今日の行程で一番つらい時間だ。後はいいペースで川場野営場へ下山した。

